

タイトル 大学カフェテリアの改善提案

C1240629 工藤万直

テーマ 学外の人にうらやましいと思われるようなカフェテリアを提案する。

1. 共感

大学のカフェテリアは、多くの学生にとって日常的に利用する施設です。しかし、今回、本学校のカフェテリアを観察し、サービスを体験したところ、学生のニーズを満たしていないと感じました。本レポートでは、ユーザーの顕在的ニーズを考察し、それに基づいて潜在的ニーズを導き出し、具体的な課題定義を行います。さらに、これらのニーズを反映した新しいカフェテリアのプロトタイプを提案し、その期待される効果について論じます。

2. 顕在的ニーズの考察

学生の顕在的ニーズを以下の通り整理します。

1. 価格の手ごろさ；学生は限られた予算で食事をするため、手頃な価格が重要です。
2. 食事の多様性と健康志向；健康的で多様な食事メニューが求められています。
3. 快適な環境；食事中にリラックスできる快適な空間が必要です。

3. 潜在的ニーズの考察

顕在的ニーズを踏まえ、潜在的ニーズを以下のように考察します。

1. コミュニティ形成の場；学生同士が交流しやすい空間が提供されることで、コミュニティ形成が促進されます。
2. 学習支援の場；カフェテリアが学習支援の場としても利用できるよう、電源や wi-fi の完備が促進されます。
3. サステナビリティ；環境に配慮した運営が求められ、地元食材の利用や廃棄物の削減が必要です。

4. 課題定義

上記のニーズを踏まえ、以下の課題を定義します。

1. 学生の予算に合わせた価格設定と食事の多様性・健康志向の両立。
2. 快適でリラックスできる環境の提供。
3. 学生同士の交流を促進するコミュニティ形成の場としての機能強化。

4. 学習支援機能の充実。
5. 環境に配慮したサステナブルな運営。

5.プロトタイプの提案：マルチファンクショナル・カフェテリア

マルチファンクショナル・カフェテリアは、食事と学習、交流の場を一体化した新しいタイプのカフェテリアです。

特徴

1. リーズナブルな価格と栄養バランス；学生の予算に合わせた低価格のメニューを提供しつつ、栄養バランスを考慮した食事を提供します。
2. 学習スペース；カフェテリア内に静かな学習スペースを設け、無料 wi-fi と電源を完備します。
3. コミュニティスペース；グループでの討論や交流ができるラウンジエリアを設置し、イベントやワークショップを定期的に開催します。
4. エコフレンドリーな運営；リサイクルプログラムやフードロス削減の取り組みを実施し、環境に優しいカフェテリアを目指します。
5. 地元食材の活用；地域の新鮮な食材を使用したメニューを提供し、地元の結びつきを強化します。

4.期待される効果

1. 満足度の向上；栄養バランスの取れた食事と快適な学習環境により、学生の満足度が向上します。
2. コミュニティの強化；異なる学部の学生や教職員との交流が促進され、新しいアイデアや協力関係が生まれます。
3. 環境意識の向上；エコフレンドリーな取り組みにより、学生の環境意識が高まり、持続可能な未来への貢献意識が育まれます。
4. 地域との結びつき；地元の食材を使用することで、地域社会との連携が強化され、地域経済の活性化に寄与します。